

東北復興こそが我が国のV字回復のカギ

この震災復興を我々はドウ乗り切るか、東北地方だけでなく、我が国の命運がそこにかかっている。その点に、世界中が注目している。そこで確実に言えることは、このたびの「復興に成功することによって、我が国は新たな成長にステップアップできる」という期待であろう。

● 復興への期待と思い

(ここでは、多くのメディアやブログなどから幾つかを抜粋して紹介したい)

日本の復興と再生のために、自分たちにできることに全力を尽くすことが、残された人間の使命である。(多数意見)

バブル崩壊と冷戦の終了後、長い間低迷を続けてきた日本が、脱皮を遂げる千載一遇のチャンスである。失われた20年から脱出するには、まさに絶好のチャンス。今こそピンチをチャンスへと変えるとき。(経済専門家)

マネーというのはカネを稼げる場所に集まるものだ。震災後の復興事業を狙って、海外の資金が日本に集まるだろう。多くのビジネスチャンスを創り出し、日本は多額の海外マネーを吸収すべきだ。(投資家)

日本はこれを機に、国内の市場を国際社会に開かないといけない。復興に必要な資金、資源、労働力などを海外から集めることを通じて、国を開くべきだ。(経済専門家)

日本が震災を通じて、絆を強め、チームワークのある、エネルギッシュな社会へと進化していくことを祈っている。(実業家)

● 復興への方向性

未曾有の試練に直面し、再生の原動力となる経済成長には、過去の延長線上にない発想の転換が求められる。(経済専門家)

復興の方法にも選択と集中が求められ、元の通りを目指していくのではなく、新しい東北の形を考えていく明確なビジョンを出していく必要がある。(多数意見)

これまでの「需要サイド」の発想を根本から変え、調達した人・物・金を、東北に配分していく「供給サイド」に軸足を置いた政策に転換する。国民は、今までの需要喚起政策である補助金や給付金など「もういらぬ」と言うことも必要だ。(経済評論家)

シンボリックな転換として、政治・行政機能を思い切って東北に置き、道州制のような新しい行政の考え方を実践する先進地域にしていくべき。(経済学者)

● 復興への課題

復興に必要な用地確保、都市基盤の再構築、生活再建、産業再生、財源確保には大小様々なハードルがある。(多数の共通認識)

しかし、大きな転換を図るには、従来の法律、諸制度の壁が大きく立ちはだかる。何をやるにも中央省庁の支配する縦割りの仕組みが存在する。(多数の共通認識)

復興に関する大胆な「特区制度」の導入が不可欠である。その「特区制度」を究極的に推し進めれば「道州制の導入」に至る。(多数意見)